

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



登園する前、髪を綺麗にしてもらった幼稚園児達(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力いつもありがとうございます。

今、世界は大変なことになっています。皆様も御存知の通りロシアのウクライナへの侵攻です。

前回のニュースレターでは、まだ戦闘状態ではありませんでしたが、その直後位から侵攻がはじまりました。今現在では幼子、子供を含む一般市民にも多くの犠牲が出ています。一日も早く平和的な解決がなされることを願うばかりです。

また日本国内でも東北地方に東日本大震災を彷彿とさせる大きな地震がありました。東北新幹線では再び大きな被害があり、復旧のめどは立たない状況です。

これらのことから見るに、これからさらに厳しい状況になることも十分予想されます。そして、助けなければならない子供たちの数も格段に大きくなるでしょう。

どれだけの子供たちを助けることができるか分かりませんが、ただ一人でも多くの子供たちを助けたいと思っています。

どうかこれからも、皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。2月8日～3月9日まで、日本に一時帰国させて頂きました。コロナ禍の中で、カンボジア国外に出るという事は考えていませんでしたが、コロナワクチン3回目を接種していたこと、年間ビザを10月に更新していたことなどが3年ぶりの帰国の助けとなりました。カンボジアからの出入国、日本への入国出国には緊張が伴いましたが、数回受けたPCR検査は全て陰性でした。日本の美しい自然に心が和み癒され、帰省した中で家族との団欒も祝福され、これからの働きの励ましともなりました。孤児院も留守中、現地スタッフ達だけとなりましたが、よく対応を取ってくれて大変助かりました。体調を崩した子ども達もいましたが、戻った時にはすっかり元気になっていて安心しました。コロナ禍の中で頑張っただけで来た子ども達もいます。良い就職先が見つかるようにと願っているところです。一時帰国の際にも、様々なご支援を頂きまして心から感謝しています。皆様から、子ども達の自立に向けてのご支援とご協力を、これからもどうぞよろしくお願い致します。



炊飯器を修理している子どもたち!

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援を、心から感謝申し上げます。ザンビアはコロナも落ち着いてきて、普通の日常を取り戻す事が出来ています。海外からの航空便も活発に到着するようになってきました。私たちの学校も、約70人の子ども達の声響き、毎日とても賑やかです。スラムの世界から、外の世界を知り、学んでいくためにどうしたら良いだろうかと考えていたところ、色々な国籍のボランティアが毎週来てくれるようになり、ゲームやアートを教えてくれるようになりました。また、ほとんどの子どもが、虐待やお酒等の問題を抱える崩壊家庭から来ているために、精神的なサポートも重要な課題だった中で、スタッフが正式なカウンセラーとしての資格を取得できたため、今後、こども、保護者(主に女性たち)を対象としたカウンセリングを始めていきます。精粉場を教室に改築する費用があと30万円ほど不足しておりますので、そのためのご支援も、どうぞよろしくお願い致します。



ボランティアによる人形劇

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンでは2月28日の政府の発表で、3月1日から感染防止の規制が解除されることになりました。引き続きマスク着用や手洗いの義務、ソーシャルディスタンスの確保は変わりませんが、皆とても喜んでます。3月14日に学校で今後の対面授業に関して、PTAのミーティングが開かれ、各保護者に以下の2点に関する同意書が配られました。

- 1.子どもたちを対面授業に出席させることに同意する。
- 2.何があっても学校側は責任を負わない。

3月21日から通常の対面での授業再開が予定されていますが、今のところ同意書にサインした保護者は8名だけです。



ワクチンを受けに行った子どもたち

各地域への学用品の配布が終わり、受け取った時の写真を送ってもらうのを待っています。皆様のご支援によって子どもたちが勉強を続けることが出来ていることを心から感謝致します。今後とも皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。2月11日から一時帰国していました。明日3月16日にブラジルに帰ります。今回の目的であった長野県白馬村での集会は、コロナ禍でキャンセルになり2年連続で行けなかったのですが、今回はやっと行くことができ、ひととき感動しました。感染対策が徹底されていた中で、無事に集会が持たれ、誰も感染することなく守られました。私も集会の中で報告の時を持たせていただき、理事の方々にもお会いしてご挨拶できて嬉しかったです。折しも同じ時期に一時帰国されたカンボジアの前田さんともお会いできて、具体的なカンボジアのお話をお伺いすることができ、希望がかないました。またたくさんのサポーターの方々から励ましのお言葉をいただき、心強く思いました。またこの機会に実家にも少し帰省することができました。ブラジルにおいてもさらに活動を再開していくことができますよう、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



一時帰国時の松本スタッフ